

第 113 回 地域まちづくり推進委員会まち普請事業部会 会議録

日時	令和7年2月 28 日(金)15:00～17:00
開催場所	横浜市庁舎 18 階 会議室みなと4
出席者 【敬称略】	部会委員)杉崎部会長、朝比奈委員、植松委員、川原委員、後藤委員、鳥海委員、 肥後委員、松村委員(オンライン参加) 事務局)横浜市:古檜山、村瀬、安藤、石田、道明、今村、市川 市民セクターよこはま:加世田 横浜市住宅供給公社:岡部、佐藤、土屋、高橋
開催形態	公開(一部非公開)
議題	(1) 2次コンテスト振り返りについて(非公開) (2) まち普請事業の課題とこれまでの取組、今後の方向性について (3) その他
報告	(1) 審査基準の見直しについて (2) ヨコハマ市民まち普請事業1次コンテスト・2次コンテスト実施要領の改正について (3) 令和6年度整備状況について (4) 令和6年度広報媒体での放映・掲載について

議事

事務局 委員	<p>【開会】</p> <p>本日の部会については公開とさせていただきますが、議事(1)2次コンテスト振り返りについての議事については、コンテストの審査についての内容となることから、会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されると認められるため、横浜市の保有する情報の公開に関する条例31条の規定によりこの議事部分については「非公開」とします。</p> <p>了承</p>
事務局 杉崎部会長	<p>【議事1】2次コンテスト振り返りについて(非公開)</p> <p>【議事2】まち普請事業の課題とこれまでの取組、今後の方向性について ア 過年度整備団体ヒアリングについて <資料2-1、2-2を用いて説明></p>
事務局 川原委員	<p>活動状況の記載はあるが、整備した施設の状況はまとめないのか。現状に手が加えられて良くなっているのか、放置されているのかなど、気になる。</p>
事務局 後藤委員	<p>改修履歴もヒアリング項目にある。今回ヒアリングした団体の施設状況は良かった。勉強したいので、今までの資料をいただきたい。</p>
事務局 後藤委員	<p>施設の状況についてもまとめ、改めて共有させていただきたい。</p>
事務局 杉崎部会長	<p>中川駅前のまちづくりに関わっているが、代表の方に伺ったところ、まち普請が大きなきっかけとなり、まちづくりのフェーズが変わったと仰っており、その効果を感じた。一度まち普請に落選し再挑戦する中で、様々な地域の人とつながり、目に見える関係ができ、まちづくりプランにつながったことは素晴らしいと思っている。</p>
事務局 川原委員	<p>活動内容のほか、活動場所の状況、維持管理に係る経費、運営費などについても、今後はより詳しく聞いていただきたい</p>
事務局	<p>ヒアリングの結果、団体により状況は様々だった。改修を見据えて積み立てを行っている団体もあれば、特に何もしていない団体もある。先を見据えた事例を共有できれば良いと思う。</p>
川原委員	<p>感触でしかないが、まちづくりの代表が活動を続けるのは10年が1つの境目だと思っている。継続することは大事だが、無理して続けることではない。上手く区切りをつけることも大事だと思う。初期の団体はどう活動を閉じるのか、誰に引き継ぐのか</p>

杉崎部会長	を考え始める時期に来ているのではないか。
川原委員	まちづくりは合意形成が大事だと言いつつ、実際にはリーダー的な人達が覚悟を持ち、引っ張っているのが現状。それを後に引き継ぐのは難しい部分もあるが、それが力となってまちづくりを動かす原動力にもなっている。
肥後委員	10年頑張っって気持ちよく閉める方が良いと思う。そして地域が振り返り、違う形でどう進めていくかを考えるきっかけになる。バトンを渡すということをしっかり考えてもらう方が良い。失敗して終わった感じでない方が良い。
杉崎部会長	私も活動は10年と決めている。その中で何ができるか考えて活動している。
鳥海委員	グループ交流会でそういうことを話せると良い。
後藤委員	まち普請は整備したら終わりだと思っていた。その後を追い、心配してくれる人がいるとは思わなかった。仲間としてシェアし合える人が地域にいるかもしれないけど、繋がる手段がない。そのため交流会や記録をシェアしていただけるのはありがたい。
杉崎部会長	世田谷トラストまちづくりが、「地域共生のいえ」を行なっている人を対象に運営支援や交流会を行っている。
事務局	整備した後の運営支援をどうするのか、新しい事業を立ち上げるつもりか、思い切ったことも必要かもしれない。
杉崎部会長	イ 令和6年度コーディネーター制度の課題改善について ＜資料3を用いて説明＞
川原委員	引き続き、コーディネーターと議論をお願いしたい。
杉崎部会長	今回はベテランの方が多かったと思う。ベテランの方は社会貢献として活動しているが、中堅の人はお金の問題もある。
事務局	ベテランと中堅の属性別に、資料をまとめた方が良いと思う。中堅の方の意見が見えにくいのが、今後を考える私たちはそれを意識する必要がある。
事務局	コンテストでコーディネーターを紹介したことは良かったと思うが、コーディネーターからは好評だったか。
事務局	好評だった。
事務局	【報告】 審査基準の見直しについて ヨコハマ市民まち普請事業1次コンテスト・2次コンテスト実施要領の改正について 令和6年度整備状況について 令和6年度広報媒体での放映・掲載について
事務局	＜資料4～7を用いて説明＞ [令和6年度整備状況について]
杉崎部会長	「えだきん」はバーチャルが売りではなかったのか。
川原委員	最終的には売りではなかった。疑問を投げかけた結果、バーチャルがなくても成り立つよう今の形になったのだと思う。引き続き応援をお願いしたい。
杉崎部会長	団体の状況は。
事務局	メンバーはコンテストの時とは異なる。場所は活用されていて、イベントも行われており、小学生、お年寄りなどの憩いの場所となっている。
肥後委員	[令和6年度広報媒体での放映・掲載について]
事務局	事務局からタウンニュースに情報提供をしているのか。
事務局	募集時にタウンニュースに依頼しているが、それ以降は各団体が自分達でタウンニュースに依頼したりしている。
川原委員	市のホームページに記事を掲載しているのか。
事務局	市のホームページには掲載していない。
事務局	まち普請広場で掲載しているものもあるが、コンテスト前に一部の団体だけ取り上げるのは良くないと思い、コンテスト後に通過団体を報告している。
川原委員	ホームページなどにニュースが集約されているといい。
杉崎部会長	これだけ1年間でメディアに掲載されるということ自体、まち普請の効果を示しているのではないか。
事務局	市では直接ホームページにリンクを載せることは難しい。どういう記事が掲載されたか、まとめて共有することはできる
杉崎部会長	リストがあったほうが良いのでは。
川原委員	記事になったことは掲載できるのでは。
事務局	タウンニュースの広告になってしまうのではないかと懸念される。
川原委員	多くの行政でそれが難しいのは知っているが、外部団体などをお願いしているとこ

<p>杉崎部会長 事務局</p>	<p>ろもある。 市の管理下でないところをお願いできないのか。もったいないなと思う。 これだけ記事にしてもらっているので、活用したいと思う。</p>
<p>川原委員</p>	<p>[その他] まち普請の蓄積や成果などは、実施要綱だけを見てわかるのか。引き継ぎのためにも、本日提案書の変更点を解説していただいたように、まち普請の解説書があると良いと思う。</p>
<p>事務局 事務局</p>	<p>内部的には解説書があると良いと思うので、一緒に作らないか。事務局・審査員も含めてメンバーが変わっていく中で、必要なことだと思う。また、団体にとっては、具体的な例示があっても良いと思う。</p>
<p>事務局 事務局</p>	<p>新しく追加した項目については、イメージがわからないと思うので、例文を追加した。見本があると、それに引っ張り過ぎられるため、細かく書かない方が良いと考え、今まで作成していなかったという経緯もある。</p>
<p>川原委員</p>	<p>提案者には今までどおりでもよいが、我々が応募書類を理解するためにはあると良いと思った。</p>
<p>事務局 杉崎部会長</p>	<p>審査基準を見直しているところもあるので、引き継げるようにしたい。 代が変わると経緯が分からなくなるので、残した方が良いと思う。 新しい審査員とも、話がかみ合わなくなる可能性もあるので、気を付けていただきたい。</p>
<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (資料1-1) 令和6年度2次コンテストアンケート概要 (資料1-2) 令和6年度2次コンテスト改善点等 (資料2-1) 過年度整備団体ヒアリングについて (資料2-2) 過年度整備団体ヒアリング 2024 経過報告について (資料3) 令和6年度 コーディネーター制度の課題改善について (資料4) コンテスト審査基準の改訂について (資料5) ヨコハマ市民まち普請事業1次コンテスト実施要領及び2次コンテスト実施要領の改訂について (資料6-1) 令和6年度整備施設状況について (資料6-2) えだきん×夢叶きゃらばんの整備について (資料7) 令和6年度広報媒体での放映・掲載について 	